

閲覧用



熊野川懇談会ニュース

第15回熊野川懇談会を開催



撮影日：令和3年8月8日

Contents

- 第15回懇談会の概要
- 熊野川懇談会へのご意見受付方法・資料入手方法

No.16
2021年9月発行

第15回熊野川懇談会が開催されました

第15回熊野川懇談会が開催され、新宮川水系河川整備基本方針の検討状況、河川整備計画の方向性について、意見交換が行われました。

第15回熊野川懇談会の主な内容は以下のとおりです。

<第15回 熊野川懇談会の概要>

◆ 開催日・場所

- 開催日：令和3年8月9日（月・祝）
- 開催方法：WEB会議
（Youtubeでのライブ配信を実施）
- 参加者：懇談会委員 15名
河川管理者等 7名



■ 第15回熊野川懇談会の様子

◆ 議事内容

1) 新宮川水系河川整備基本方針の変更について

紀南河川国道事務所より、第113回河川整備基本方針検討小委員会で審議中の「新宮川水系河川整備基本方針の変更」について、本文（案）を新旧対照表を用いて報告した。

（委員からの主なご意見） ■委員からの意見 □河川管理者等からの回答

- 河川環境の整備と保全に「創出」が加わったことについて、例えばイドミミズハゼのように生態や生活史がよく分からないものも対象に環境の創出をすることは難しいと思うが、国のほうで調査、研究を計画することを考えているのか。（高須委員）
□河川整備基本方針の全体の方針として「創出」まで含めており、河川整備計画をつくっていく中で、河川工事するときに配慮すべき具体的な種や調査を議論し、反映できればと思っている。（近畿地方整備局）
- 既存ダムによる洪水調整機能の強化を図る点で、「施設の改良」の相互理解・協力ができるのか。（横田委員）
□「施設の改良」については、ダム管理者との調整を踏まえ、河川整備計画原案に示していきたい。（紀南河川国道事務所）
- 歴史的な観点から「平安時代にはじまった熊野御幸は、鎌倉時代以降、皇族、貴族から武士階級や庶民へと拡がり、「蟻の熊野詣」といわれるほど多くの方が訪れた。」と直してはどうか。（p8 17行目）（山本委員）
- 濁水の長期化が生じる表現については、付け加えられた部分との整合性がとれていないのではないかと。（p13 26行目）（高須委員）
- 観光舟運について、「熊野川中流部では熊野詣を再現した川舟下りや北山川の筏下りなどの観光舟運が盛んで」と直してはどうか。（p13 28行目）（山本委員）
- 河川環境の整備と保全に関しては、これまでの地域の人々と熊野川との歴史的・文化的な関わりを踏まえ、「歴史的な環境に配慮しながら」の表現を入れた方が良い。（p24 63行目）（山本委員）
- 外来種に対して（多様性に対する記載と同じ）「生息・生育・繁殖」の記載は違和感がある。（p25 66行目）（加治佐委員）
□河川整備基本方針本文（案）へのご意見については、藤田委員長に確認のうえ、河川整備基本方針検討小委員会にお伝えする。（近畿地方整備局）

2) 河川整備計画の方向性について

熊野川河川整備計画の方向性について、つぎのとおり確認された。

1. 熊野川河川整備計画では、河川整備基本方針案で示された24,000m³/sの基本高水に対して、概ね30年の段階的な整備目標を定め、河川整備を実施する。
2. 計画規模の洪水氾濫を防ぐことに加え、想定し得る最大規模の洪水に対しても氾濫被害をできるだけ減らすよう、流域全体のあらゆる関係者が実施する流域治水により、多層的な治水対策を推進、支援することを河川整備計画に位置づける。
3. 河道掘削、地震・津波対策、河川維持、環境整備、危機管理対策、地域住民連携などの取組事例を今後の河川整備計画の実施内容に繋げる。

(取組事例)

- 「流域全体での取り組み」：流域治水プロジェクト、既存ダムによる洪水調節機能の強化、総合土砂管理については、熊野川の一貫した総合的な治水対策を推進する「熊野川の総合的な治水対策協議会」のように、関係機関と連携を図りながら、取組を推進する。
- 「河道掘削」：神事に利用される権現河原(礫河原)等の歴史的な景観や、河口部干潟や礫河原などの多様な河川環境の保全に配慮し、河道掘削を推進する。河道掘削による発生土砂・再堆砂について、効果的・効率的で持続可能な土砂管理に配慮する。
- 「地震・津波対策」：熊野川本川・市田川の水門・樋門の耐震対策は概ね完了しており、引き続き、相野谷川における水門・樋門等の耐震対策も実施する。
- 「河川環境保全」：河川環境の整備と保全のため、池田港かわまちづくり等の水辺整備事業、環境に配慮した護岸整備、猿谷ダムでの流木の無料配布等を実施。
- 「河川維持」：河川水の適正な利用及び流水の正常な機能の維持のため、魚類や水利利用者の必要な水量を確保し、河川環境の維持のため、水質調査、モニタリング調査等を実施する。また、河川の維持管理のため、河川巡視、点検、維持修繕、許認可業務等を実施する。
- 「危機管理対策」：ハザードマップの作成周知や地区タイムラインの活用、住民向けの防災情報の拡充など、ソフト対策を推進する。
- 「地域住民との連携」：地域住民との連携のため、河川清掃、水生生物調査・水質調査、河川愛護モニター、防災授業、ミズベリング等の地域住民と連携した取組を実施する。

(委員からの主なご意見) ■委員からの意見 □河川管理者等からの回答

- 河川環境は一度壊してしまうと元に戻らないものもあることから、河川整備計画を考える際には、長期的に達成すべきもの、20～30年後に達成しなければならないもののメリハリを考えてほしい。(井伊委員)
□ 河川環境の保全や整備についても、河川整備基本方針に沿った段階的な取組として、治水事業による河川環境へのインパクトに対して、どういう種や河川環境を守っていくかを河川整備計画に位置づけていきたいと考えている。(紀南河川国道事務所)
- 「最大放流時にダム放流量を低減できるよう」と記載があるが、「明日の熊野川整備のあり方(追記版)」には「最大流入時にダム放流量を低減」と記載されている。どちらが正しいのか確認してほしい。(資料-2 p5)
(横田委員)
□ 事前放流という観点で、適正な表現を検討する。(紀南河川国道事務所)
- 局地的な対策だけでなく、流域内の関係者が連携した対策を実施することが重要とあるが、河道掘削の説明には「持続可能」という表現がある。総合土砂管理も同様に一時的な対策だけでなく、持続可能な対策を実施することが重要であるので、そのような文言を追加した方がいいと思う。(資料-2 p6)(松尾委員)
□ 持続可能な対策という文言を追加する。(紀南河川国道事務所)

3) 今後の予定

河川整備計画(案)公表までのスケジュールが確認された。

第16回熊野川懇談会は、各委員の予定確認後に別途連絡することが確認された。

4) その他

(ニュースレターの配布)

第16回熊野川懇談会のニュースレターについては、閲覧用に設置のみとし、配布は行わないことが確認された。

【懇談会へのご意見受付方法】



ホームページ
による受付

熊野川懇談会に関するご意見等は「熊野川懇談会」のホームページの「ご意見」のバナーをクリックしていただくと「熊野川懇談会へのご意見等」のページが開きますので、「意見を送る」をクリックしていただき、ご意見等をお寄せください

熊野川懇談会ホームページ

https://www.kkr.mitgo.jp/kinan/river/kumano_kondan/index.html



FAX・原稿送付
による受付

FAX をご利用の場合、または原稿送付の場合は以下の連絡先にご連絡ください。

【連絡先】熊野川懇談会 庶務

三井共同建設コンサルタント株式会社

(担当：豊島・楠・升水・牧野)

〒552-0007 大阪市港区弁天1丁目2番1-900号

大阪バイタワーオフィス9階 FAX：06-6599-6050

【資料入手方法】



ホームページ
による入手

懇談会資料は、熊野川懇談会ホームページよりダウンロードできます。

熊野川懇談会ホームページ

https://www.kkr.mitgo.jp/kinan/river/kumano_kondan/index.html



熊野川懇談会ニュース No.16

【編集・発行】熊野川懇談会 2021年9月発行

【連絡先】熊野川懇談会 庶務

三井共同建設コンサルタント(株) (担当：豊島・楠・升水・牧野)

〒552-0007 大阪市港区弁天1丁目2番1-900号 大阪バイタワーオフィス9階

Tel：06-6599-6024 FAX06-6599-6050

熊野川懇談会ホームページアドレス https://www.kkr.mitgo.jp/kinan/river/kumano_kondan/index.html

※メールにつきましては、ホームページの「ご意見等」をご利用ください。